

28小平特第2172号
平成29年2月16日

関係各位

都立小平特別支援学校
校長 國保とも子
(公印省略)

平成28年度ICT研修会「視線入力の可能性」の御案内について

軽暖の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、重度の障害をもつ児童・生徒におけるコミュニケーション能力向上を図るため、下記の通り、島根大学総合理工学研究科 機械・電気電子工学研究科助教伊藤史人氏と株式会社オリィ研究所代表吉藤健太郎氏の講演とワークショップの研修会を実施することとなりました。御多忙中とは思いますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

- 趣 旨 特別支援学校における重度障害の情報教育に関する指導の改善を図る
～視線入力装置を活用した肢体不自由児・病弱児の支援～
- 日 時 平成29年3月17日（金）午後3時00分から午後5時00分まで
講演後、ワークショップ開催（午後7時まで）
- 会 場 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール 1. 2（別紙参照）
- 対象者 分教室在籍に関係なく本病院に入院中及び通院中の児童・生徒、保護者、
東京都肢体不自由教育教職員、医療関係者等、本研究に関心のある方
- 講演テーマ「ICTを活用した重度障害者のコミュニケーションについて」
～ローコスト視線入力装置を活用したスタートアップ～
- 講師 島根大学総合理工学研究科 助教 伊藤 史人 氏
株式会社オリィ研究所 代表 吉藤 健太郎 氏
- 主催 都立小平特別支援学校
- 共催 東京都肢体不自由教育研究会

9 内 容

- ・ICTを活用した重度障害者のコミュニケーションの実例
- ・ゲーム（視線・スイッチ）を活用したQOL向上の取り組み例
- ・視線入力を活用した電子透明文字盤の活用

15:00 開会 あいさつ

15:05 講演

17:00 閉会

17:10 ワークショップ

19:00 終了

*「できた!」「できる!」の視線入力とスイッチ入力 *50分 + 10分 (質疑) 伊藤史人氏 (島根大学総合理工学研究科助教)

ローコスト視線入力装置の登場で、誰もが視線入力装置を手に入れることができるようになりました。しかし、誰もが使えるようになったかというところではありません。実は、視線入力装置をうまくつかうにはコツがあるのです。本研修では、利用者の「できた!」「できる!」を大事にして実例を交えてお話しします。

*神経・筋難病とロボット *30分 + 10分 (質疑)

吉藤オリィ氏 (株式会社オリィ研究所所長)

2013年春、分身ロボット OriHime がとある ALS 患者の女性と出会いました。分身ロボットは ALS など難病の患者でも自由に操作できるように進化を続け、世界をひろげ続けています。最新バージョンでは視線入力により操作が可能になりました。本研修では、分身ロボットのデモも交えてお話しします。

*コラボ企画 *20分

『伊藤史人氏×吉藤オリィ氏による、未来をより楽しくする福祉介護系ものづくり対談』

キーワードは、「福祉介護×ICT」「暮らしに役立つガジェット」「福祉介護系ハッカソン」。
内容は当日のお楽しみ!

10 イブニングセミナー (自由参加のワークショップ)

実際に視線入力やスイッチ入力による支援機器を体験してみましょう。

「重度障害(児)者のコミュニケーションにおける視線入力装置の可能性について」

講師 伊藤 史人 氏 吉藤 健太郎 氏

同日 17時10分から19時00まで

内容 視線入力装置によるコミュニケーション支援機器等

11 問い合わせ

(担当)

東京都立小平特別支援学校武蔵分教室

副校長 岩下 桂郎

主幹教諭 田添 敦孝

メール Nobuyuki_Tazoe@member.metro.tokyo.jp

〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院内

電話、FAX: 042-344-4537

講師紹介

伊藤 史人 (いとう ふみひと) 氏

博士 (ソフトウェア情報学)
島根大学総合理工学研究科 助教

<プロフィール>

東京都中野区出身。一橋大学情報基盤センター助教を経て現在にいたる。島根大学は赴任3年目。3次元医療画像の研究のかたわら福祉情報工学にかかわる。福祉情報工学では、神経・筋疾患患者のコミュニケーション支援技術に取り組む。近年では、視線入力訓練やワンスイッチ訓練のソフトウェアの開発に重点をおく。「EyeMoT」は日本で一番使われる視線入力訓練ソフトウェアとなっている。

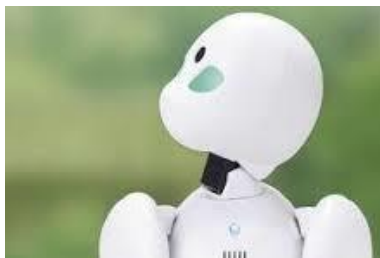


吉藤 健太朗 (よしふじ けんたろう) 氏

株式会社オリィ研究所 代表取締役所長

<プロフィール>

奈良県葛城市出身。
小学5年～中学3年まで不登校
高校時代に3年間ものづくりの巨匠、久保田憲司師匠に師事。
行った電動車椅子の新機構の発明により、国内最大の科学コンテストJSECにて文部科学大臣賞、ならびに世界最大の科学コンテストISEFにてGrand Award 3rdを受賞、その後寄せられた多くの相談と自身の療養経験から、孤独の解消を志す。
企業や大学、NPO法人との共同研究
ALS患者を対象とした意思伝達装置の設計開発

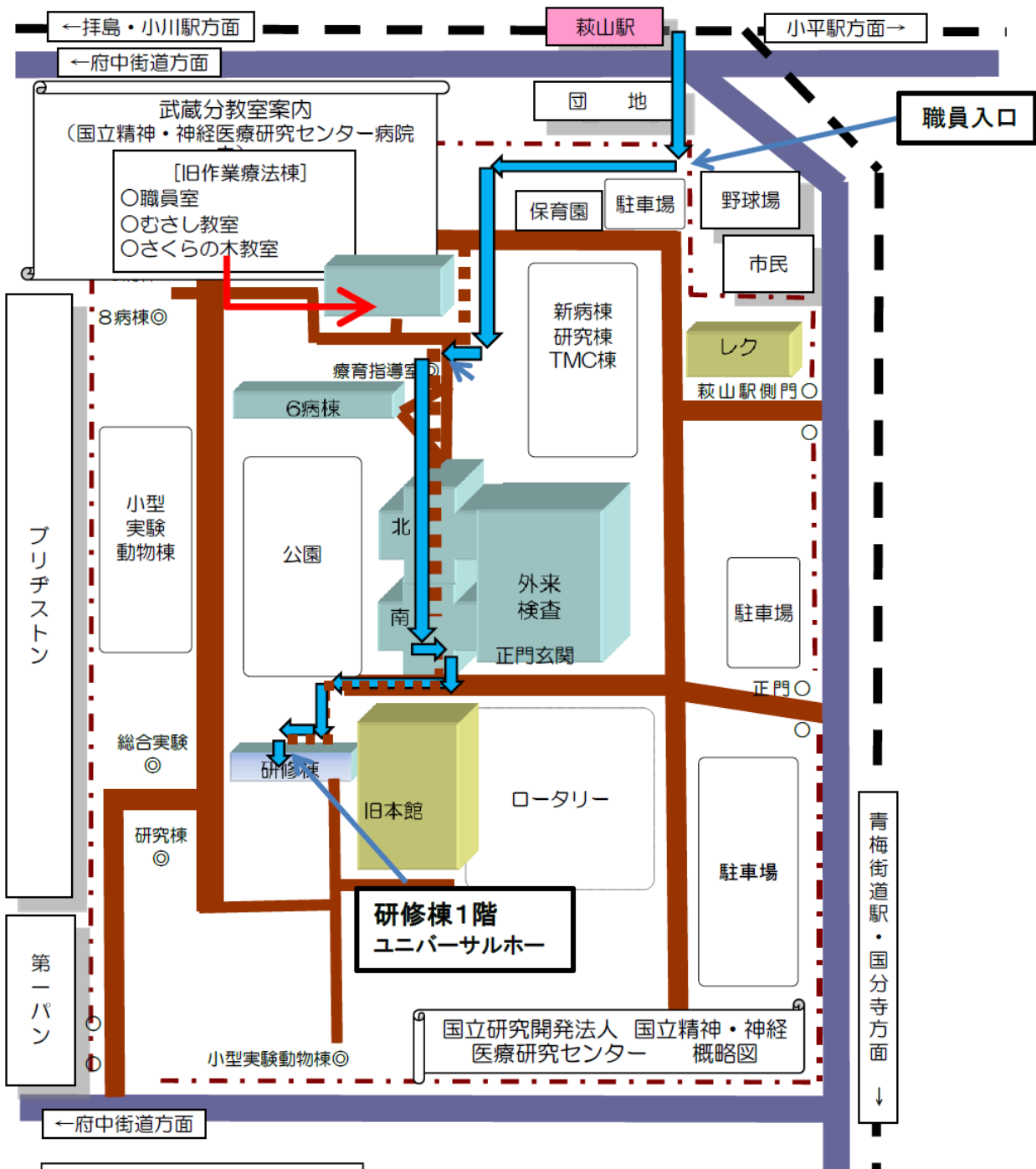


分身ロボットOriHime

〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院中央館 2階第一会議室

電話、FAX: 042-344-4537 田添: 090-3222-7933



交通案内

西武線 萩山駅 徒歩 5分

西武線 青梅街道駅 徒歩 15分

JR線 新小平駅 徒歩 15分